事業所自己評価結果一覧

公表：令和6年3月1日

事業所名　岐阜市立恵光学園　　職員 28 人　　回収数 28 人（100%）

	チェック項目	はい	いいえ	ご意見
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	14	**はい** ・基準は満たしているが、収納スペースが少ないため、教材をベランダに置いたり、給食や活動に合わせて椅子、テーブルなど室内の物を工夫してセッティングしてできるだけ窮屈にならないようにしている。 ・全親子登園の日は、教室が狭いと感じるため、遊戯室を利用したり、できる限り戸外に出かけたりするなど活動内容を工夫して、過ごしている。
				いいえ ・部屋によっては、緊急時の避難が難しいなど、構造上改修が必要なところがあると思います。 ・みんなが集まれるスペースがもう少しあるとよい。 ・親子登園の際や、身体を大きく動かす活動や行事によっては、狭いと感じる。
2	職員の配置数は適切であるか	15	13	**はい** ・子どもの状態によって、フォローできる職員がいるとよい。また、職員の研修や休憩を考えると職員が増員できるのであればより良い支援に繋がると思います。 ・配慮の必要なお子さんへの支援だけでなく、親子療育で保護者に具体的な援助技術も支援しているため（合わせて育児相談にも応じている）、足りないと感じる。 ・基準は満たしているが、児童発達支援係の職員が休憩をとるために、地域支援・管理係の職員にクラスに入ってもらっており、児童発達支援係の職員内で体制がとれるとよい。 ・フロアリーダーや地域支援の職員が柔軟に各クラスの補助に入りながら、人員配置が不足することなく、休憩時間等も確保できるように工夫して取り組まれていると思う。
				いいえ ・クラス全体で動く時（トイレ時や部屋の移動時）に、手が足りないと感じる。人数を分けて移動するようにしたり、子どもの相性や並び順を考えて移動するなどして、怪我や事故につながらないように工夫している。また、職員数が足りないため、年休や看護休暇等を取得する時に躊躇することが多い。 ・個別の支援が必要なお子さんは多いので、各フロアにもう一人ずつくらいフリーの職員が配置されたならば、手厚い支援ができると思います。 ・親子支援を行う中で、個別に相談を受けたり、子どもに寄り添っている間はクラスが手薄状態になることもある。時間をある程度で区切ってクラス担任間等で相談して後日返答することもあるが、悩んでいる保護者にその場で一緒に工夫したり、解決方法を考えてあげられると良いと思う。 ・一部の職員に業務が集中し過ぎている。職員間の業務分担を適正に改める必要がある。
3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	9	**はい** ・職員が手作りしたり、修繕を繰り返しながら、子どもの実態に応じて職員一人一人が工夫して、衝立や日程表などを使って、環境を整えている。 ・外国籍の保護者にも理解がしやすいように、ルビを振ったお知らせを準備したり、通訳の同席を積極的に行っている。IT化を随時進めている。 ・施設が古いこともあり、設備が十分とは言い難い。今ある中で、工夫したり、改善したりしながら配慮を行っている。 ・絵カードを使って予定等を示したり、掲示物は正面を避けて、できるだけ側面に行う等、特性に配慮することが意識されていると感じる。
				いいえ ・教室内で、活動も食事も午睡もすべて行っており、子どもには分かりにくい。また、もう少し防音性が必要であり聴覚的な過敏さがある児や刺激に反応しやすい児が過ごしづらい。 ・築年数が高く、バリアフリー化できていない部分もある。子どもが安全に過ごせるように手作りで環境を整えたり動線を考えたりしている。 ・パニックになった子どもがクールダウンできるような空間があるとよいと思う。 ・段差がないとよい。

4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	9	**はい** ・職員が手作りしたり、修繕を繰り返しながら、構造化された環境を提供しているが、建物自体が古いため、構造化しようにも限界があり建て直しを望む。 ・毎日清掃し、清潔に過ごせるようにしている。 ・清潔に保たれるとともに、危険箇所を見直しながら安全に活動できるように取り組まれていると思う。
				いいえ ・害虫が多いと感じる。また設備が古いので、不便な時もある。日々、清潔に過ごせるように掃除を徹底している。 ・トイレの便器を工事してもらって大人も子どもも快適になったと思いますが、トイレ内に寝転んでできるオムツ替えのスペースがなく、ウンチのオムツ替えがやりづらいです。 ・子どもが小さいとはいえ、トイレをもう少しプライベート空間が守られるようにしてほしい、天井を綺麗にしてほしいと常に思います。 ・トイレの天井が剥がれてきていたり、水漏れや水回りの故障が多かったり、部屋の壁が剥がれていたり、施設の老朽化を感じます。
5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	26	2	**はい** ・配慮の必要な子どもやその保護者に対する支援については職員研修等で援助技術を磨いている。 ・職員がヒヤリハットを出しやすいように様式を改善したことでヒヤリハット件数が増え、対応策の回覧や職員会報告を徹底したことで怪我・事故件数が減少した。 ・会議等では常に積極的な意見交換が行われており、より良い支援ができるように意識されていると感じる。
				いいえ
6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	28	0	**はい** ・保護者の評価には丁寧に対応していると思われる。 ・すぐ改善できるもの、時間はかかるが改善できるもの等に分けて取り組んでいる。
				いいえ
7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	28	0	**はい**
				いいえ
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	28	0	**はい**
				いいえ
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	28	0	**はい** ・職員自身が学びたい内容を選べるような研修にも取り組んでいる。 ・様々な講師による研修を受けることができている。
				いいえ
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	28	0	**はい** ・クラス担任、フロアリーダー、児童発達支援管理責任者が集まり、子どもや保護者のニーズや課題を多面的に分析している。
				いいえ
11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	22	6	**はい** ・標準化されたアセスメントツールは発達検査のみだが、利用児童全員が実施しているわけではない。他機関で発達検査を受けた利用児童については結果を提供してもらっている。
				いいえ ・基準をもってアセスメントしているが、標準化されてはいない。

12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28	0	**はい** **いいえ**
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28	0	**はい** **いいえ**
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	27	1	**はい** ・基本的には週リーダーが作るが、日常の話題の中で「こんなことやってみてはどうか」「こんな力を付けさせたい」等、よく話しているので、活動の内容はまんべんなくそれぞれの子ども達の課題に沿えるようにしている。 **いいえ**
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	27	1	**はい** ・同じ遊びをするにしても、その度にアレンジしたり、少しずつステップアップするように心がけている。また、同じ遊びを繰り返すことで、面白さがわかってきたり、気持ちや身体の面での成長に伴って上手にできるようになることも多いので、固定化とまではいかなくても定期的に同じ活動を入れることは必要だと思う。 **いいえ**
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	26	2	**はい** **いいえ** ・当園ではクラス単位を基準として集団活動を実施しているため、個別支援は実施していない。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	28	0	**はい** **いいえ**
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	25	3	**はい** ・今日の出来事について話す中で、翌日からの課題が浮かび上がってくることが多いです。今日はうまくいかなかったから、明日はこうしようと意見を出し合ったりしています。 ・誰とでも言い合える関係、雰囲気作りがもっとできると良い。 ・振り返りを行うことで勤務時間を超過することがある。 **いいえ** ・個々で振り返りはしている。 ・必ず毎日ではないが、出来る時に行っている。 ・できる限り、その日の支援や子ども・保護者の姿について等職員間で振り返ったり、情報共有したりするように心がけているが、早く勤務時間が終了する職員もいるので、必ず毎日できているとは言い難い。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	28	0	**はい** **いいえ**

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	28	0	**はい** **いいえ**
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	28	0	**はい** **いいえ**
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	27	1	**はい** ・事業所内に相談支援専門員がいるため、担当している児については柔軟に連携を取りながら、必要に応じて連携した支援が行われている。 ・連携はあるが十分とは言えず、更に進めていく必要がある。 **いいえ** ・連携していくべきと感じているが、十分とは言えない。
23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	24	4	**はい** ・全くない訳ではないが、十分ではないので、情報交換・共有のため、もっと連携を取り合っていけるとよい。 ・必要に応じた連携が行われている。 ・医ケア児、重心の子どもは利用していない。 **いいえ** ・今年度は医ケア児、重心の子どもは登園していない。
24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	23	5	**はい** **いいえ** ・今年度は医ケア児、重心の子どもは登園していない。 ・主治医や機関名は保護者からの情報で知っているため、いざという時に連絡を取ることは可能だと思われるが、連絡体制を整えているとは言い難い。
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	28	0	**はい** ・引き継ぎやアフターケアを行い、スムーズな移行ができるように取り組んでいる。 **いいえ**
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	28	0	**はい** ・引き継ぎやアフターケアを行い、スムーズな移行ができるように取り組んでいる。 **いいえ**
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	26	2	**はい** ・学園の研修に参加していただいている。 ・職員交流を行う等、連携を行っている。 **いいえ**
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	15	**はい** ・岐阜市として交流保育を実施している。 ・希望者は交流保育を行っているが、学園として、地域の子ども達と交流や活動する機会を作れるとよい。 **いいえ** ・交流保育を希望する子へは、交流保育を勧めている。 ・交流保育はあるが、一部の児童のみなので、これから、交流の機会を増やしていけるとよいと思う。 ・交流保育に行っている子たちはいるが全員ではない。 ・実施を検討中である。

29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	13	15	**はい** **いいえ**
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	28	0	**はい** ・親子登園や直接送迎時に保護者と情報共有をしている。 ・親子登園の時には単独の時の様子をエピソードを含めて話すように心がけています。 ・連絡ノート等により、個々の子どもの状況について連絡を取り合い、互いに理解を深められるように取り組んでいる。 **いいえ**
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	28	0	**はい** ・年に2クール実施。 ・ペアトレの時の資料を見せてもらうと、家庭での取り組みにペアトレで学んだことを生かしてみえることがよくわかります。困難を感じている保護者さんに向けて、ペアトレは継続してほしいです。 ・連絡ノート等により、個々の子どもの状況について連絡を取り合い、互いに理解を深められるように取り組んでいる。 **いいえ**
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	28	0	**はい** ・利用者に説明すべき事項については、常に分かりやすく丁寧な説明を行っている。 **いいえ**
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	28	0	**はい** **いいえ**
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	28	0	**はい** **いいえ**
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	28	0	**はい** ・フリートークの機会を設ける等、保護者同士の連携が深まるように取り組んでいる。 ・もう少し保護者同士意見が共有、交換できる場があるとより良い。 **いいえ**
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	0	**はい** **いいえ**
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	28	0	**はい** **いいえ**

38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	28	0	**はい** **いいえ**
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	28	0	**はい** ・絵カードの活用等、より分かりやすく情報伝達を行うことに取り組んでいる。 **いいえ**
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11	17	**はい** **いいえ** ・学園の性質上、学園行事に地域住民を招待することはないが、子育て支援の一環として、子育てに不安のある親子が利用できる「きらきら教室」を開催している。 ・個人情報保護のため実施困難である。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	24	4	**はい** **いいえ** ・現在、マニュアル作成中。 ・保護者に周知することや、発生を想定した訓練の実施が不十分なので、今後必要。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	28	0	**はい** **いいえ**
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	28	0	**はい** **いいえ**
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	28	0	**はい** **いいえ**
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	28	0	**はい** ・職員がヒヤリハットを出しやすいように様式を改善したことでヒヤリハット件数が増え、対応策の回覧や職員会報告を徹底したことで怪我・事故件数が減少した。 **いいえ**
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	28	0	**はい** **いいえ**
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	28	0	**はい** ・身体拘束に至る事例は無いが、委員会を開催して組織的な協議が行われている。 **いいえ**

48	その他、お気づきの点やご意見がございましたら、ご入力ください。（例：給食、療育環境、園外活動、親子療育など）（任意）			・昔は日常的に親子登園される父親はほとんどみえませんでしたが、今はどのクラスにもおられます。男子職員の比率も増えました。それはとても良いことだと思いますが、トイレが男女共用で、抵抗のある保護者さん（特に母）もみえると思います。女性がトイレに入っているすぐ側に男性（職員、父）がいるというのは、慣れたとはいえ自分だって嫌だなと思います。そんなことはあってはならないですが、もしかしたら盗撮などもないとは限りません。 ・働く側、保護者側、それぞれ時代に合わせたニーズ、考え方を更新していけると良い。 ・他の幼稚園などと交流があると良い。 ・配慮の必要なお子さんの保護者が抱える「育てにくさの解消」という問題に対し、親子療育を受けることにより、保護者が直接的に支援技術を学ぶことが出来るだけでなく、同じ悩みを持つ保護者と横のつながりが持てる事により、子育ての悩みを解消していくメリットがある。早期療育とともに親子療育は幼児期にとても重要な役割があると思っている。しかし、保護者の就労等により親子登園が難しい家庭もあり、療育を必要とするお子さんを持つ保護者に対しては、育児休暇が就学前（年長）まで取得できるようになると良いと考える。国が主導し全国に広まることを願う。